

三重の海の多様性から 広がる学術研究

海に囲まれた海洋国日本のなかでも、古くから海との関わりが深い三重。穏やかな内海の伊勢湾、リアス式海岸の志摩半島、そして黒潮の影響を強く受ける熊野灘と続く海岸線は、多種多様な海洋資源に恵まれています。三重大学では、この豊かな三重の海をフィールドにした様々な研究を行ってきました。本講演会では、志摩漁村の海藻漁の展開がもたらした近代東アジアの海藻流通構造の転換に関する研究、そして、異なる海洋環境をもつ2つの海に生息する鯨類の生態研究について紹介します。

令和
4年 **12月9日(金)**
13:00▶16:00

**参加費
無料**
どなたでも
参加できます

13:00▶13:10

開会挨拶 三重大学学長 **伊藤 正明**

13:10▶13:20

日本学術会議副会長挨拶 日本学術会議副会長 **高村 ゆかり**

13:20▶13:30

主催者挨拶

日本学術会議中部地区会議代表幹事 **池田 素子**
(日本学術会議第二部会員、名古屋大学大学院生命農学研究科教授)

13:30▶13:40

科学者との懇談会活動報告 中部地区科学者懇談会幹事長 **松田 正久**

13:40▶15:55

近代東アジアの海藻文化
～志摩漁村から描くグローバルヒストリー～

学術講演会

三重大学人文学部教授 **塚本 明**

鯨類の生態の謎を解き明かす

～伊勢湾と熊野灘の多様なクジラとイルカの物語～

中部地区科学者懇談会三重県幹事、三重大学大学院生物資源学研究科教授 **吉岡 基**

16:00

閉会挨拶

司会 日本学術会議連携会員、三重大学大学院医学系研究科教授 **村田 真理子**

三重大学

津市栗真町屋町1577

オンライン開催

<https://forms.office.com/r/7tJDHy3yyR>

【参加申込方法】

参加を希望される方は12/2(金)までに左記URLまたはQRコードより事前申込みをお願いいたします。定員になり次第、事前申込みの受付は終了いたします。

